

第21回 北九州市景観審議会 議事要旨

日時：令和8年1月15日（木）10:00～12:00

場所：北九州市役所本庁舎 3階 特別会議室 A

出席者（委員）：

壹岐尾 恵美、伊東 啓太郎、井上 龍子、大下 亜耶、大森 今日子、
奥村 祥子、佐久間 治、柴田 加奈子、田中 康子、福島 規子、松田 麻友美、
三笠 友洋、横山 麻季子 13名（欠席：杣 剛、中原 知美 2名）

出席者（事務局）：

都市再生推進部長 正野、都市再生企画課長 平野、景観形成係長 湯浅、
主任 田中

議事1 北九州市景観審議会会長及び副会長の選任について

互選により、会長：佐久間 治 委員、副会長：井上 龍子 委員が選任された。

議事2 部会長の選任及び部会の立ち上げについて

会長からの指名により、部会に属すべき委員は以下の通りとなった。

①改定検討部会

壹岐尾 恵美 委員、井上 龍子 委員、三笠 友洋 委員、福島 規子 委員、
田中 康子 委員、中原 知美 委員、佐久間 治 委員

②景観資源部会

伊東 啓太郎 委員、大下 亜耶 委員、大森 今日子 委員、柴田 加奈子 委員

③勧告公表部会

奥村 祥子 委員、杣 剛 委員、松田 麻友美 委員、横山 麻季子 委員

互選により、改定検討部会長：三笠 友洋 委員、景観資源部会長：伊東 啓太郎 委員、
勧告公表部会長：横山 麻季子 委員が選任された。

議事3 北九州市景観づくりマスタープラン・北九州市景観計画の改定について

事務局から内容説明を行った。

【改定の進め方について】

委員 来年度の景観審議会・改定検討部会を含めた、マスタープラン改定の流れについて確認したい。

事務局 まずはこれまでの取り組みの振り返り（総括）を行うため、委託業者に業務を発注の上、目標・行動指針に対する取り組み状況・達成状況の調査分析、及び課題の洗い出しを行う。その内容を2回の改定検討部会に諮り、改定内容や新たなマスタープランの骨格を作った上で、年度末の景観審議会に諮り、再来年度の方針を定めたいと考えている。また、再来年度には、必要に応じて、各重点地区の具体的な景観デザインの策定を検討できたらと考えている。

委員 せっかく色々と専門的な視点を持った委員15名がいるため、マスタープラン

ンの改定については、改定検討部会だけでなく、景観資源部会や勧告公表部会も含め、景観審議会全体で協議・検討し、意見を集め反映する仕組みを考えてはどうか。

委員 現時点の予定では来年度1年間のうち、改定検討部会を2回開催し、年度末に景観審議会で報告となっているが、景観審議会が年1回では少ないのではないか。オンライン開催も含め、もっと回数を増やすか、改定検討部会で協議した内容を共有する仕組みを考えて頂きたい。

委員 年間スケジュールについて、予め各回の開催日及び協議内容・目標を事前設定・共有しておいた方がよいのではないか。

事務局 了解した。会長・副会長と協議の上、改定検討部会だけでなく他委員の意見も収集・反映する進め方や共有の仕組み、開催の回数等について、検討する。

委員 マスタープラン策定業務を外部委託し、素案を作成した状態で改定検討部会に諮るのではなく、先に景観審議会の各委員からアンケートなどにより現在のマスタープランの課題など意見を集め、それを基に委託業者に発注・作成指示を行った方がよいのではないか。

委員 マスタープラン（案）については、適宜内容や進捗状況を各委員に共有し、意見を集めることで、完成直前になって大幅に修正・変更とならないよう注意して頂きたい。

事務局 了解した。

【多様な視点の取り組みや他分野との連携について】

委員 新ビジョンには「彩りあるまち」に「都市の魅力を高める街並みづくり」の項目があるが、景観という要素は「稼げるまち」や「安らぐまち」にも繋がってくるテーマであるため、広く捉えて、今回の改定に反映して頂きたい。

委員 マスタープランには、子どもや障がい者、外国人旅行者、LGBTQなどの多様な市民への配慮、あるいは、グリーンインフラ等の環境への視点も含めた検討をして頂きたい。

委員 文化や観光など、北九州市が同時期に行っている他分野の計画策定等と、横の連携（意見調整・情報交換）を図りながら、進めて頂きたい。

事務局 了解した。

報告1 景観重要建造物「八幡製鐵所旧鍛冶工場」の耐震改修工事について

事務局から内容説明を行った。